



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月12日

上場会社名 大井電気株式会社
 コード番号 6822 URL <https://www.ooi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 甲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 仁井 克己
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-433-1361

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	29,410	16.2	303	46.7	375	39.4	139	73.3
2020年3月期	25,314	12.2	569		620		523	

(注) 包括利益 2021年3月期 821百万円 (71.3%) 2020年3月期 479百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	107.87		2.0	1.8	1.0
2020年3月期	405.70		8.2	3.3	2.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	22,416	8,451	31.9	5,522.53
2020年3月期	20,219	7,684	32.6	5,109.96

(参考) 自己資本 2021年3月期 7,156百万円 2020年3月期 6,601百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,114	611	2,414	3,007
2020年3月期	2,004	330	1,294	2,326

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		50.00	50.00	64	12.3	1.0
2021年3月期		0.00		50.00	50.00	64	40.8	0.9
2022年3月期(予想)		0.00		60.00	60.00		15.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	31.1	470		430		340		331.83
通期	28,440	3.3	710	134.0	770	104.9	510	265.2	393.56

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	1,470,000 株	2020年3月期	1,470,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	174,165 株	2020年3月期	178,191 株
期中平均株式数	2021年3月期	1,294,588 株	2020年3月期	1,291,213 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	17,439	28.8	108		239	45.4	258	39.5
2020年3月期	13,541	18.0	365		437		427	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	199.79	
2020年3月期	331.36	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	15,596		4,837		31.0		3,733.11	
2020年3月期	13,842		4,607		33.3		3,566.46	

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,837百万円 2020年3月期 4,607百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、上半期、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言・営業活動自粛等により経済活動や個人消費が落ち込む厳しい状況となりました。下半期の景気回復の動きは、政府による各種経済対策はあったものの、感染再拡大に伴う2度目の緊急事態宣言を受け、経済活動の制限や先行きの不透明感から個人消費の停滞により足踏み状態が続いており、引き続き予断を許さない状況となっております。

当社をとりまく市場動向につきましては、主要顧客である電力業界においては発電コスト増、電力需要の低迷等により積極的な設備投資は控えられている状況にあるものの、第5世代移動通信システム(5G)の普及、インターネット利用拡大によるデータトラフィックの増大、IoTデバイスの急速な普及等により、当社ビジネス参入機会の拡大が見込まれております。しかしながら足元では新型コロナウイルス感染症拡大に伴う顧客計画の延伸や工事案件の遅延、世界的な半導体不足による部材調達問題等の影響が顕在化しております。

当連結会計年度の売上高につきましては、情報通信機器製造販売が堅調に推移したため、294億10百万円(前年同期比16.2%増)となりました。

損益につきましては、情報通信機器製造販売における利益改善の遅れや品質対応費用の影響により、営業利益は3億3百万円(前年同期比2億65百万円減)、経常利益は3億75百万円(前年同期比2億44百万円減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1億39百万円(前年同期比3億84百万円減)となりました。

以下、セグメントの概況をご報告いたします。

[情報通信機器製造販売]

キャリア向け光伝送機器が増加したため、売上高は前年同期より30.7%増の171億61百万円となりました。セグメント損益につきましては、電力向け案件の売上延伸に伴う利益の減少に加え、主力製品の利益率改善の遅れや、第2四半期までに発生した開発費用、品質対応費用の影響により92百万円の損失(前年同期比4億73百万円損失増)となりました。

[ネットワーク工事保守]

通信機器工事が増加したため、売上高は前年同期より0.6%増の122億48百万円となりました。セグメント損益につきましては、工事案件に占める利益率の良い案件の割合が増加したこと、人件費・間接経費等に対するコストカットの効果があつたことから、3億72百万円の利益(前年同期比1億87百万円増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ21億97百万円増加し224億16百万円となりました。

これは主に、仕掛品が2億73百万円減少したものの、現金及び預金が6億30百万円増加、受取手形及び売掛金が10億18百万円増加したことによります。

(負債)

当連結会計年度末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ14億30百万円増加し139億65百万円となりました。

これは主に、工事損失引当金が10億38百万円減少、退職給付に係る負債が5億28百万円減少したものの、短期借入金が20億50百万円増加、長期借入金が3億72百万円増加したことによります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億66百万円増加し84億51百万円となりました。

これは主に、退職給付に係る調整累計額が4億27百万円増加、非支配株主持分が2億11百万円増加、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益の計上により75百万円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ6億80百万円増加(前年同期比29.3%増)し、当連結会計年度末には30億7百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は11億14百万円(前年同期は20億4百万円の減少)となりました。

これは主に、仕入債務の増加による資金の増加が4億44百万円あったものの、売上債権の増加による資金の減少が10億83百万円、工事損失引当金の減少が10億38百万円あったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は6億11百万円(前年同期は3億30百万円の減少)となりました。

これは主に、固定資産の購入により資金が6億43百万円減少したことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は24億14百万円(前年同期は12億94百万円の増加)となりました。

これは主に、配当金の支払いにより資金が64百万円減少したものの、短期借入金の実行により資金が20億50百万円増加、長期借入金の実行により資金が4億40百万円増加したことによります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	32.6	31.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	16.3	15.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※ キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ 2020年3月期及び2021年3月期については、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、情報通信機器製造販売事業について、IoT関連に利用されるLPWA(*1)等の事業の拡大が見込まれておりますが、キャリア向け光伝送機器等のOTN(*2)プラットフォーム(光伝送機器)事業における旺盛な需要に伴う前倒し受注の反動減もあり、売上の減少が見込まれます。

利益につきましては、既存主力製品の原価率改善を中心とした継続的な原価低減の取組みや開発管理の強化により、確実な黒字化を目指していきたくと考えております。

ネットワーク工事保守事業につきましては、キャリア向け通信機器工事案件を中心とした需要の継続から売上の増加を見込んでおります。利益については市場拡大に伴う競争の激化や高品質維持を前提としたコスト削減の強い要請等、厳しい経営環境が継続する見通しから、今期に比べ減少するものと予想しております。

以上のことから、次期の見通しにつきましては、売上高284億40百万円、営業利益7億10百万円、経常利益7億70百万円、親会社株主に帰属する当期純利益5億10百万円を予想しております。

*1 Low Power Wide Area

*2 Optical Transport Network

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

- ①当社グループは、中長期的な企業価値の向上を基本目標としつつ、利益配分については、当期の業績及び今後の業績動向を踏まえ、投資家の皆様への安定的な配当の継続、将来への成長投資、財務体質の強化等を総合的に勘案して行ってまいります。
- ②内部留保資金につきましては、将来の事業展開や今後の急速な技術革新に備え、新製品・新技術の研究開発投資並びに設備投資等に充当することにより、業績の向上に努め、体質の強化を図ってまいります。
- ③当期の期末配当につきましては、本日公表の剰余金の配当に関するお知らせのとおり、1株当たり50円とさせていただきます。
- ④次期の年間配当金につきましては、1株当たり60円（内、中間配当は0円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内が中心であるため、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の当社グループを取り巻く状況及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向等を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,386,741	3,017,318
受取手形及び売掛金	7,802,407	8,820,446
電子記録債権	355,577	421,458
商品及び製品	437,195	549,035
仕掛品	4,351,850	4,078,131
原材料及び貯蔵品	596,397	842,768
その他	127,984	168,268
貸倒引当金	△6,004	△4,030
流動資産合計	16,052,149	17,893,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,705,984	3,738,519
減価償却累計額	△3,144,561	△3,195,252
建物及び構築物(純額)	561,422	543,266
機械装置及び運搬具	775,567	775,205
減価償却累計額	△667,240	△701,231
機械装置及び運搬具(純額)	108,326	73,974
工具、器具及び備品	3,607,943	3,622,739
減価償却累計額	△3,346,031	△3,326,178
工具、器具及び備品(純額)	261,911	296,561
土地	1,422,171	1,422,171
リース資産	6,431	70,151
減価償却累計額	△1,853	△8,518
リース資産(純額)	4,578	61,632
建設仮勘定	18,038	303,175
有形固定資産合計	2,376,448	2,700,782
無形固定資産		
投資その他の資産	356,309	371,191
投資有価証券	525,448	589,685
長期貸付金	2,210	2,533
繰延税金資産	619,079	564,157
その他	288,363	295,792
貸倒引当金	△704	△704
投資その他の資産合計	1,434,398	1,451,464
固定資産合計	4,167,156	4,523,438
資産合計	20,219,305	22,416,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,275,660	3,460,538
電子記録債務	74,528	332,857
短期借入金	1,450,000	3,500,000
1年内返済予定の長期借入金	—	67,468
リース債務	1,412	15,431
未払金	1,263,512	1,311,579
未払法人税等	82,064	25,609
未払消費税等	258,363	195,075
賞与引当金	840,992	839,848
役員賞与引当金	15,140	5,360
工事損失引当金	1,218,880	180,477
その他	451,680	570,447
流動負債合計	8,932,235	10,504,693
固定負債		
長期借入金	—	372,532
リース債務	3,531	52,857
役員退職慰労引当金	28,563	14,625
退職給付に係る負債	3,413,435	2,885,177
資産除去債務	84,781	84,781
その他	72,148	50,568
固定負債合計	3,602,459	3,460,543
負債合計	12,534,695	13,965,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,708,389	2,708,389
資本剰余金	1,401,317	1,403,366
利益剰余金	3,308,006	3,383,069
自己株式	△551,481	△539,064
株主資本合計	6,866,231	6,955,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,784	175,172
退職給付に係る調整累計額	△401,930	25,351
その他の包括利益累計額合計	△265,145	200,523
非支配株主持分	1,083,524	1,295,315
純資産合計	7,684,610	8,451,599
負債純資産合計	20,219,305	22,416,836

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	25,314,544	29,410,371
売上原価	20,542,308	24,479,615
売上総利益	4,772,235	4,930,755
販売費及び一般管理費	4,203,075	4,627,363
営業利益	569,159	303,392
営業外収益		
受取利息	1,476	766
受取配当金	18,092	53,275
受取賃貸料	25,019	27,222
その他	23,976	28,407
営業外収益合計	68,564	109,673
営業外費用		
支払利息	2,669	19,586
為替差損	3,945	10,739
支払補償費	6,000	4,022
その他	4,704	2,847
営業外費用合計	17,318	37,195
経常利益	620,405	375,869
税金等調整前当期純利益	620,405	375,869
法人税、住民税及び事業税	52,859	22,126
法人税等調整額	△42,268	38,110
法人税等合計	10,591	60,236
当期純利益	609,813	315,633
非支配株主に帰属する当期純利益	85,970	175,980
親会社株主に帰属する当期純利益	523,843	139,653

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	609,813	315,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,662	40,470
退職給付に係る調整額	△114,731	465,221
その他の包括利益合計	△130,394	505,692
包括利益	479,419	821,325
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	407,848	605,322
非支配株主に係る包括利益	71,571	216,002

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,708,389	1,402,573	2,784,971	△557,707	6,338,226
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			523,843		523,843
自己株式の取得				△362	△362
自己株式の処分		△2,064		6,588	4,524
自己株式処分差損の振替		808	△808		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1,255	523,034	6,226	528,005
当期末残高	2,708,389	1,401,317	3,308,006	△551,481	6,866,231

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	147,532	△296,683	△149,150	1,016,165	7,205,241
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					523,843
自己株式の取得					△362
自己株式の処分					4,524
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△10,747	△105,247	△115,995	67,359	△48,636
当期変動額合計	△10,747	△105,247	△115,995	67,359	479,369
当期末残高	136,784	△401,930	△265,145	1,083,524	7,684,610

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,708,389	1,401,317	3,308,006	△551,481	6,866,231
当期変動額					
剰余金の配当			△64,590		△64,590
親会社株主に帰属する当期純利益			139,653		139,653
自己株式の取得				△400	△400
自己株式の処分		2,049		12,816	14,866
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		2,049	75,062	12,416	89,529
当期末残高	2,708,389	1,403,366	3,383,069	△539,064	6,955,760

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	136,784	△401,930	△265,145	1,083,524	7,684,610
当期変動額					
剰余金の配当				△4,212	△68,802
親会社株主に帰属する当期純利益					139,653
自己株式の取得					△400
自己株式の処分					14,866
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	38,387	427,281	465,669	216,002	681,672
当期変動額合計	38,387	427,281	465,669	211,790	766,988
当期末残高	175,172	25,351	200,523	1,295,315	8,451,599

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	620,405	375,869
減価償却費	434,370	408,594
株式報酬費用	7,234	12,282
貸倒引当金の増減額(△は減少)	694	△1,974
賞与引当金の増減額(△は減少)	95,504	△1,144
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	12,140	△9,780
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,931	△13,937
工事損失引当金の増減額(△は減少)	149,880	△1,038,402
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△64,320	△63,035
受取利息及び受取配当金	△19,568	△54,042
支払利息	2,669	19,586
会員権評価損	—	680
固定資産売却損益(△は益)	△53	△22
売上債権の増減額(△は増加)	△2,391,476	△1,083,606
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,895,117	△84,492
その他の資産の増減額(△は増加)	61,405	55,731
仕入債務の増減額(△は減少)	1,192,723	444,083
未払消費税等の増減額(△は減少)	199,214	△63,288
未払金の増減額(△は減少)	△321,503	△3,562
その他の負債の増減額(△は減少)	△93,019	88,618
その他	3,643	7,508
小計	△2,007,103	△1,004,333
利息及び配当金の受取額	19,551	54,043
利息の支払額	△3,542	△22,458
法人税等の支払額	△13,257	△141,984
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,004,352	△1,114,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	—
定期預金の払戻による収入	—	50,000
有形固定資産の取得による支出	△173,532	△558,292
有形固定資産の売却による収入	53	22
無形固定資産の取得による支出	△95,372	△85,001
投資有価証券の取得による支出	△7,243	△6,954
貸付けによる支出	△2,680	△1,042
貸付金の回収による収入	773	933
その他	△2,115	△11,222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△330,116	△611,557
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300,000	2,050,000
リース債務の返済による支出	△1,412	△6,747
長期借入れによる収入	—	440,000
自己株式の取得による支出	△362	△400
配当金の支払額	—	△64,590
非支配株主への配当金の支払額	△4,212	△4,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,294,013	2,414,049
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,903	△7,181
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,043,359	680,577
現金及び現金同等物の期首残高	3,370,100	2,326,741
現金及び現金同等物の期末残高	2,326,741	3,007,318

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、情報通信機器の製造販売及びネットワークの工事保守を主な事業内容としており、当社及び当社の連結子会社がそれぞれ独立した経営単位として、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、連結会社を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、「情報通信機器製造販売」及び「ネットワーク工事保守」の2つを報告セグメントとしております。

「情報通信機器製造販売」は、主に光伝送システム、セキュリティ・監視システム、リモート計測・センシングシステム、無線応用システムの関連機器を製造販売しております。「ネットワーク工事保守」は、主に通信設備、光ネットワーク、CATV等の工事及び保守を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	情報通信機器 製造販売	ネットワーク 工事保守	
売上高			
外部顧客への売上高	13,134,087	12,180,456	25,314,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	500,066	416,358	916,424
計	13,634,153	12,596,815	26,230,968
セグメント利益	380,725	184,446	565,171
セグメント資産	14,008,749	6,432,347	20,441,097
その他の項目			
減価償却費	367,046	67,323	434,370
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	270,167	31,610	301,778

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	情報通信機器 製造販売	ネットワーク 工事保守	
売上高			
外部顧客への売上高	17,161,386	12,248,984	29,410,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	327,622	383,705	711,327
計	17,489,009	12,632,689	30,121,698
セグメント利益又は損失(△)	△92,880	372,191	279,310
セグメント資産	15,589,721	7,002,876	22,592,598
その他の項目			
減価償却費	342,034	66,559	408,594
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	716,686	31,450	748,136

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	26,230,968	30,121,698
セグメント間取引消去	△916,424	△711,327
連結財務諸表の売上高	25,314,544	29,410,371

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	565,171	279,310
セグメント間取引消去	3,987	24,081
連結財務諸表の営業利益	569,159	303,392

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	20,441,097	22,592,598
セグメント間取引消去	△221,791	△175,761
連結財務諸表の資産合計	20,219,305	22,416,836

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	5,109.96円	5,522.53円
1株当たり当期純利益	405.70円	107.87円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	523,843	139,653
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	523,843	139,653
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,291	1,294

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	7,684,610	8,451,599
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	1,083,524	1,295,315
(うち非支配株主持分(千円))	(1,083,524)	(1,295,315)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,601,085	7,156,283
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	1,291	1,295

(重要な後発事象)

該当事項はありません。